

静岡大学 理学部 数学科 学校推薦型選抜（公募制）

私は高校に入学した時から、数学や物理学、化学に興味を持ち大学でもそれらを学びたいと考えていました。そのため、一年生から理系科目に特に力を入れ、定期テストでは常に上位に入れるように努力していました。2年生から模試で大学の判定が出るようになり、その時に全ての大学が E 判定で、このままではいけないと思い、模試を中心とする勉強に転換しました。結果として、数学で全国偏差値 75.3 校内偏差値 97.3 を出すことができました。その中で特に大切だと思ったのは、参考書などの勉強の補助教材です。教科書というのは、定義などを厳密に書いてある良書だとは思いますが、初学者や、受験に向けての勉強の教材としては向いていないと感じました。その中で参考書というのは、定義など本質的な部分では曖昧であるものがありますが、入門から本質や核心に迫った上級者用のものまで数多く、大抵の場合自分に適した参考書があると思います。参考書の選び方のコツとしては、何が良かりサーチすることも大切だと思いますが、店頭に赴いて、中身を見て、自分に向いていると思った 1 つを突き詰めることが大切だと思います。その他にも、YouTube を活用するということも、良いと思います。私は、毎朝数学の問題の動画を見てから、学校に登校するようにしていました。動画も平均 5 分～7 分と短く、あまり苦ではありませんでした。その効果は大きく、大学受験ということを早い時期から意識でき、周りと差をつけられたと思います。吉原高校は生徒の層が広く、難関私立や、国公立二次レベルの問題まで授業で多くは扱えませんが、YouTube ではレベルの高い問題が多く、そのような問題に挑戦し、理解できた時に大きく成長できると思います。

後輩へのアドバイスとしては、周りを知ることです。これから 3 年生になる人はもちろん受験生と言う自覚はあるとは思いますが、まだ良いだろうと言う甘い考えの人が多いように思います。新しく、2 年生や 1 年生になった人は受験などほとんど意識していないと思います。自分も実際そうでしたが、受験を体験してみると、自分が受験した march や、早慶上理では、周りは私立中高一貫が多く中学で高校の範囲に入り、高校入学の時点でスタートラインが違う、という人たちも多くいます。そのような人たちと戦わなければいけません。これが受験です。どんなに努力しても結果は冷酷で、頑張りは評価してくれません。自分はすでに遅れているということを知る、ということが受験への第一歩だと思います。

ここまで、厳しい内容もありましたが、それだけではありません。もちろん逆転合格もあります。自分も最後の模試まで D 判定しか出なかった東京理科大に、逆転で合格できました。諦めなければ必ず努力が報われる、とは言いませんが、諦めなかった人にしか努力が報われるチャンスはありません。諦めず最後までしがき、合格を掴み取ってください。応援しています。